

これから求められる**国際交流・産業振興策**

32号発行についてのご挨拶

わが国は本格的な人口減少時代を迎えましたが、その様な時代においても魅力と風格を備えた地方都市「豊橋市」であるためには、グローバル化という大きな潮流を積極的に捉え、独自のまちづくりをすすめていく必要があります。

そこで2期最後の一般質問は、今後の豊橋の成長に欠かせないこれから求められる

「国際交流のありかた」と、

「産業振興策」について議論しました。



Q これから求められる「国際交流の在り方」について

近年の地方自治体の国際交流のありかたは、地方によって異なりバラエティーに富んでいます。

また一部の自治体では目的を持った交流をしていますが、国内全体で見た場合、昔ながらの手法や形だけの交流が主流で、地域の発展にうまく結び付いていないところが課題とされています。

そこで本市の国際交流を総括するために、わが国における地方自治体の「グローバル化」と「自治体国際政策」を振り返ると同時に、本市の国際交流担当の組織と豊橋市国際交流協会の変遷を振り返り、本市の国際交流の歴史とその時代背景を整理した上で

1回目

- (1) 本市における国際交流事業について
- (2) 「平和・交流・共生の都市宣言」について
- (3) 「国際交流の拠点としての国際交流協会」について

2回目

- (1) 「国際交流」と「多文化共生」を分けての考え方について
- (2) 本市の留学生に対する考え方について
- (3) これから求められる豊橋市国際交流協会について議論した。

A 豊橋市 文化市民部長

国際交流と多文化共生 国際交流は、自治体間の交流により相互理解と親善を図ることで地域の国際化を推進するとともに市民を主体とした交流により、幅広い分野での活動が活発化することを目指す。

多文化共生は、外国人市民と日本人市民がお互いの文化を認め合い、同じ市民として安心して暮らせる地域社会を築いていくことを目指しており、国際交流と多文化共生の目的は異なっているものと認識しているが、お互いの文化を理解するという基本的な部分は同一、事業的にも関連し合うものはあると考えている。

留学生

本市には多くの留学生が生活しており、在学中卒業後も本市で活躍されることを期待しています。これまで意見をいただく、交流事業に参加を促すなどしていますが、優れた人材を活かす積極的な取り組みは行っていません。しかしながら、市内大学においてもグローバル化を進めている今日、まずは地域の人材という観点で留学生の意見を聴いて行きたいと考えております。

豊橋市国際交流協会

地域の国際化や国際交流事業を幅広い分野で行っておりますが、まだまだ市民の協会の認知度は十分とは言えず、様々な事業への参加者数も伸び悩んでいる。今後はさらにネットワークの強化を図り、多くの情報を発信して行きたい。また、ボランティア団体が幅広く活動できる環境を整えることも重要です。本市としては、国際交流協会の活動に対し、協力と支援することで、国際交流の活性化を図ってきたい。

伊藤とくやの意見

「国際交流」と「多文化共生」 国際交流と多文化共生は、目的は異なるが、お互いの文化を理解するという基本はひとつ。

留学生

また本市で学ぶ留学生だが、本市の社会奉仕クラブ等多くの留学生をサポートしており数十年の歴史がある。是非ともこれまでの「人」のご縁を活かしてほしい。豊橋技術科学大学のマレーシア・パン校は豊橋のメインキャンパスと人材交流を進めており将来はアセアン地域の大学への連携拡大を考えています。またマレーシアは王族支配で国情も安定しており石油をはじめ天然資源が豊富で豊かです。日本の企業も多く進出しており、これに注目して東三河広域経済連合会（豊橋商工会議所など）はアジア人材ネットワーク構築ミッションとして視察団を派遣しました。この機を活かしてほしい。

豊橋市国際交流協会

まだまだ市民の協会の認知度は十分とは言えず、様々な事業への参加者数も伸び悩んでいるとのこと。これを機に今の時代に即したネットワークの強化を図り、協会活動についての多くの情報を発信して頂きたいと願っています。国際交流協会が移転するに際して、一人ひとりのボランティアが団体として活動しやすい環境を整えていただきたいと思います。

Q **これから求められる「産業振興策」について**

いま第4の波として高まりを見せている日本企業のグローバル化の波は、内需で成長できた企業が、少子化やマーケットの縮小により、海外に販売先を求めて行かざるを得ない状況を根底としています。

今後も本市の産業が持続的に発展していくためには、「日本から世界へ」中小企業のグローバル化・海外展開の支援が求められます。

1回目に、

- (1) グローバル化への認識と現在の対応について
- (2) これから求められる中小企業・小規模事業振興策補助制度の支給要件を緩和するなどの制度見直しについて

2回目に、

- (1) 今後ますます進展して行くグローバル化へ、本市が果たすべき役割について
- (2) 中小企業振興費における本市の補助メニューは豊富に用意されているが、従業員数の要件として100人という制限をかけているものもある。現下の社会経済情勢の変化にあわせ、製造業300人までと定める中小企業基本法の上限まで要件を緩和するなど制度を見直す考えについて、議論した。

(1)答 豊橋市 産業部長 少子高齢化が進み人口減少社会を迎える中、企業のグローバル化は、事業の存続や拡大にとって有効な手段であると認識しています。

本市では、これまで農産物や加工食料品の海外展開を中心に意欲的な事業者への支援を行っており、豊橋ブランドのPR等において一定の成果を得ることができたと考えています。一方、ものづくり分野では、専門機関であるジェトロ等と連携を図りながら、情報提供などを行っています。また、次年度には、植物工場システムの海外展開を見据えた調査を行う予定です。

中小企業等への振興策については、さまざまな企業活動に対し、総合的な支援をすることが重要であると考えており、積極的に実施しています。さらに、ISOなどの国際規格の認証や特許権の取得等に必要となる経費の一部助成も行っています。

補助制度の見直しについては、中小企業基本法における中小企業の定義は製造業などで従業員数300人までとなっていますが、限られた財源を有効に活用するため本市の制度内容は、製造業者の94%を占める100人以下の事業者に重点を置いています。しかし、社会情勢の変化に伴い事業活動も大きく変化しているため、支給要件等を含めた必要な見直しを加え、ブラッシュアップに努めていきたいと考えています。

(1)について **伊藤とくやの意見**

本市の努力については、現在ジェトロへ本市職員を出向させており、加えて、次年度には、植物工場システムの海外展開を考えるとのこと。

■わが国は人口減少時代の縮小する経済や消費が大きな問題ですが、世界の人口は増えています。とくにアジアの一部では人口爆発とも言える人口増加傾向にあり巨大なマーケットが見込まれる。

■本市の農作物や農業生産品に留まらない、プラントシステムの輸出は本市の利益にかなうとともに世界貢献であると思う。



■ 今後は、グローバル化における地域への影響についても十分調査する中で、必要に応じた的確な支援を行うことで更なる地域経済の活性化に取り組んで欲しいと思う。

■ また、「あいち国際戦略プラン」に沿った産業政策プランが、これから本市には必要であると思う。

■ 過去の経過も踏まえ、未来志向でグローバル化の波に乗り遅れないようなグローバル戦略を、現在策定作業中の「豊橋市 産業振興プラン」に盛り込んでいただきたいと思います。

(2)について **伊藤とくやの意見**

■ T P Pを始めとする経済のグローバル化の波は、国家の枠組みを超えて都市間競争の激化、地球規模の環境問題、システム・制度、世界的な標準化（ISO, HACCP, FSSC22000）など様々なかたちで本市の産業に影響を与えようとしています。

■ 企業の競争力、行政の対応力が真に問われる時代です。

■ 支援策等につきましては、今まで以上に事業者の方々の声をよく聴き、社会情勢の変化に対応できるようにブラッシュアップに努めたいとのことでした。

■ グローバル化の波に乗ることに利する補助メニューには、中小企業等国際規格等認証取得推進事業費補助金がありますが、これにはT P Pでこじ開けられようとしている農業や食品加工業では今後喫緊の課題となる国際規格等認証や特許権への補助メニューがあります。

■ ところが、近隣の自治体の補助メニューと比較しますと、本市の補助は認証のきっかけづくりですが、安城市のように継続的補助をする自治体もあります。

伊藤とくやのおもい 2期目最後の一般質問は大きく2問、

- 1 これから求められる国際交流のあり方について
- 2 これから求められる産業振興策について議論させていただきました。本議論にて人口減少時代を克服する手段のひとつ「グローバル化の波」を乗り越え一助となり本市が飛躍するよう期待致します。😊😊😊

2期8年ありがとうございました

お蔭様で2期8年、皆様の市政への代弁者として任期を終えました。3期目はいっそう頑張る所存です。

変わらぬご支援をお願いいたします！



発行

伊藤とくや事務所
豊橋市松葉町 3-68
FAX : 0532-56-5521
TEL : 0532-53-4556
bbito@mx1.tees.ne.jp
携帯 : 090-3855-9696